

2020.11.27

日本海ガス株式会社

原料費調整（スライド）制度に基づく2021年1月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2021年1月検針分に適用される従量料金単価を、2020年12月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m³あたり－2円44銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合、ガス料金は月額5,283円（税込）となり、51円（0.96％）お支払額が減少します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2020年8月～2020年10月のLNG、プロパンの平均原料価格を2020年8月～9月の貿易統計確報値および2020年10月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は31,940円／tとなります。2020年12月検針分のガス料金調整額を算定した2020年7月～2020年9月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2020年8月～2020年10月の実績平均原料価格は、トンあたり2,730円下降することになり、料金調整は上記のとおりとなります。

●2021年1月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2020年12月検針分の従量料金単価に対して、-2.44円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m ³ あたり)	
			2021年1月	2020年12月
A	0 m ³ から 10 m ³ まで	976.80 円	237.37 円	239.81 円
B	10 m ³ を超え 170 m ³ まで	1,593.46 円	175.70 円	178.14 円
C	170 m ³ を超え 500 m ³ まで	4,690.18 円	157.48 円	159.92 円
D	500 m ³ を超える	10,674.18 円	145.52 円	147.96 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2021年1月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合

2021年1月適用料金 (a)	2020年12月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
5,283 円	5,334 円	-51 円	-0.96%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2011年～2015年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円／t）および従量料金単価調整額（円／m³）

	2020.8～2020.10	2020.7～2020.9	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	31,500	34,360	42,480
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	40,010	39,190	39,600
平均原料価格(LNG換算)	31,940	34,670	42,520

■2020年8月～10月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG 平均輸入価格} \times 0.9645 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0390 \text{ (10 円未満四捨五入)} \\
 &= 31,500 \text{ 円/t} \times 0.9645 + 40,010 \text{ 円/t} \times 0.0390 \\
 &= 31,942.14 \text{ 円/t (10 円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{\underline{31,940 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 31,940 \text{ 円/t} - 42,520 \text{ 円/t} \\
 &= -10,580 \text{ 円/t (100 円未満切捨て)} \\
 &= \underline{\underline{-10,500 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= -10,500 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times 1.10 \\
 &= -9.471 \\
 &= \underline{\underline{-9.48 \text{ 円/m}^3}}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額 100 円につき従量料金単価を 0.0902 円 (0.082×1.1) 円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

	2021年1月	2020年12月	増減
調整額 (円/m ³ ・税込)	-9.48	-7.04	-2.44